

受 付 番 号	2025-16		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111406 号		
研究課題名	フリースクールに通う児童生徒の歯科健康診査の受診実態に関する疫学研究		
研究責任者	河村 佳穂里	申 請 者	河村 佳穂里
研究終了日	2027 年 3 月 31 日		
所 属	口腔衛生学講座	所 属	口腔衛生学講座
職 名	講師	職 名	講師
申請の概要			
近年我が国は少子化の状況下にあるにもかかわらず、小中学校における不登校児童生徒数は 10 年連続で増加傾向にある。特にコロナ禍にあった令和 2 年度以降急増し、令和 5 年度では小中学生併せて過去最多の 346,482 人で、前年度に比べ 47,434 人増加し、増加率は 15.9%であった。高等学校でも同様に令和 2 年度以降、不登校生徒は増加傾向に転じている。 不登校の状態にある子どもたちには食事、運動、生活リズムなど生活習慣の乱れに起因する体力低下による易疲労、肥満、睡眠障害といった問題や、セルフケアの低下、間食の増加による齲蝕の増加が見られることが報告されている。口腔内環境は特に生活状況を反映しやすい部分であり、これを歯科健診等で発見することができれば、早期発見・早期治療につながることが可能となる。 しかし、不登校児童の積極的な歯科受診機会は少なく、不登校児童の口腔内状況に関連するまとまったデータは存在していないのが現状である。 本研究の目的は、不登校経験のあるフリースクールの児童生徒の歯科健診の受診実態を把握し不登校児童生徒の歯科的問題点を抽出することである。本研究によって、不登校の問題に対する歯科的アプローチの必要性の検証が可能になるものと期待される。			